

## 第4回 市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する 有識者検討会議 会議録

日時 令和6年10月24日(木) 10時00分から11時00分  
場所 周南市役所 庁議室  
出席者 ・委員11名(1名欠席)  
榑原 弘之、河野 拓也、竹下 徹、稲垣 円、室内 文彦、桐生 智晃、  
藤井 崇史、西崎 博史、松本 久美子、原田 宗隆、児玉 真  
・事務局5名  
企画部長 川口 洋司、企画部次長 行富 広康、  
企画課市民館跡地利活用推進室  
室長 中村 成孝、室長補佐 丁田 純、主査 近松 昌哉  
・株式会社シアターワークショップ 伊東、山下  
資料 ・会議次第のとおり

### 会議録

#### 1 開会

◇事務局 ただ今から、第4回 市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する有識者検討会議 を開催いたします。

本日は、お忙しい中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます、周南市企画課の中村と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議は、12名中、11名の委員の皆様にご出席いただいております。なお、周南市母子保健推進協議会の岸委員が本日も欠席となっております。

本日の会議では、これまでの議論を踏まえて作成しております市民館跡地利活用構想案と文化小ホール基本構想・基本計画中間報告案につきまして、本有識者検討会議としての意見を取りまとめていただきたいと存じます。

#### 2 議事:(1)市民館跡地利活用構想案及び文化小ホール基本構想・基本計画中間報告案に関する意見書(案)について

◇事務局 それでは、これより議事に入ります。これ以降の進行につきましては、設置要綱第6条の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、榑原会長、どうぞよろしくお願いいたします。

◎会長 それでは始めさせていただきます。2週間前に開催された第3回有識者検討会議にて、事務局から過去数カ月の経過説明として、周南市文化会館の大規模改修や山口銀行の参画意向のお申し出があったことについて説明がございました。そ

のように状況が変わった中で、前回の会議でも皆様よりご意見をいただきました。

資料1「市民館跡地利活用構想案及び文化小ホール基本構想・基本計画中間報告案に関する意見書（案）」は現時点で準備いただいているもので、こちらを本有識者検討会議として提出しようと考えております。まずは意見書（案）について説明させていただきます。

意見書（案）の構成は、1. 市民館跡地利活用構想案に関する事項、2. 文化小ホール基本構想・基本計画中間報告案に関する事項、3. 今後の文化小ホール基本構想・基本計画の策定に関する事項、4. その他意見となっています。こちらは、これまでの有識者検討会議にて皆様にいただいたご意見を網羅する形でまとめたもので、市がこれから事業を進めていく中で考えてもらいたいことをまとめるものです。

本日の議論は、この意見書（案）に対して、ご自身の認識とは異なっていないか、分類が正しいか、新たに追加すべきご意見はないか等を考えていただきます。本日いただいたご意見を踏まえて最終的にまとめたものを、本有識者検討会議の意見として市へ提出する予定です。

事務局より補足説明はありますか。

◇事務局

補足ではございませんが説明いたします。

皆様方におかれましては、これまで3月25日より長い間スケジュール調整をいただき、文化会館の改修という我々の都合により、今回、文化小ホール基本構想・基本計画を中間報告としてまとめることとなりました。この件につきましては寛大にもご理解いただいたと存じます。ありがとうございました。

お手元にお配りしております通り、市民館跡地利活用構想案と文化小ホール基本構想・基本計画中間報告案としてまとめております。これらには、これまでいただいたご意見を反映させていただきました。本日いただくご意見も後ほど反映させていただきますが、現時点でのまとめとなっております。

今後、市民館跡地利活用構想、文化小ホール基本構想・基本計画中間報告をもとに、次のステップに進んでまいります。

まずは、国庁舎の集約化を私どもとしてもしっかり進めていきたいです。国としっかり協議、調整を図ってまいります。

また、新たに山口銀行様とも協議させていただき、市民にとってよりよい施設となるよう、現在は中間報告ですが、最終的には完成形に持っていかなくてはならないと思っています。その先には、施設整備も見据えながら事業展開していきたいと考えています。その際には、またお力添えを賜りますようお願い申し上げます。私どもからは以上です。

◎会長            ありがとうございました。意見書（案）をご一覽いただき、何かご意見等がございましたらこの場でいただければと思います。

●委員            4. その他について話します。

素晴らしい内部機能や構造を兼ね備えた施設になるだろうと認識しましたが、自分自身の中で広がっていくイメージがついていません。周りの景観を損なわずに、市のシンボルとなるような特色のある外観の建物ができたら良いのではと思います。殺風景なものよりは、中が素晴らしいだけでなく、外も全国で一番になるような建物にしたいという、私個人の思いがあります。

◎会長            ありがとうございます。デザインにあたって、周辺環境との関係をよりよくしていきたいということです。その他何かございますか。

●委員            子ども支援をさせていただく立場から意見を述べます。

「こどもまんなか社会」の実現に向けて、という形で基本構想に取り入れていただけて進めていただけることは大変ありがたく、感謝を申し上げます。その中で、山口銀行の参画も含めて、緑のプロムナードまで含めた一体的な施設になるよう、外国のような、広い土地、広い公園が大きい大通りの中にあるという公園的要素は大きく取り入れてほしいです。

また、居場所作りという観点からも防災は大切です。災害時避難場所として、防災拠点としての位置づけという項目を入れていただけるとよりよいと思っています。

◎会長            前段のご意見は、公園との一体化等に関するご意見と思えばよろしいでしょうか。後段は防災拠点への言及もあってもよいのではないかと、というご意見でした。

前回かなりいろいろな観点のご意見をいただいたと思いますが、前回いただいたご意見もある程度こちらの方に反映はできているように思っております。その他にまだございましたら言っていただけたらと思います。

●委員            PTAの立場から意見を述べます。令和7年度末から部活動が地域移行する中で、例えば学校管理下でない吹奏楽部や美術部の備品等、管理関係の問題も出てくると思います。建物が立つまでに改善、対応できる余地を残しておいてもらいたいと思います。

◎会長            ホール完成時期が見通せない中で、地域移行は待たなしで進んでいくと思います。教育面での文化活動への支援について市は継続的に行う必要がある、というご意見でしょうか。

●委員            学校との連携もしっかりしていきたいです。

◎会長            それに関してはより広い文化行政になります。文化行政として、学校教育や部活動との連携を考えてほしいというご意見だと思います。文化小ホール開館までの期間をどうするか、前回もご懸念の意見があったと思います。その中のひとつ

として学校との関係も文化行政としてきちんと考えていただきたいというご意見と受け取りました。

●委員 駐車場について前回言い残したことをお伝えします。健診車のスペース確保には言及されていますが、舞台を使うものにしる展示にしる、その時に作品等いろいろなものを搬入するトラックや車の駐車スペースや、学校で利用する大型バス、中型バスの駐車スペースの確保を検討していただきたいです。一般の方だけでなく、誰でも使いやすいという観点では、そのような駐車スペースの確保も検討いただきたいです。

◎会長 ありがとうございます。事務局へ質問です。搬入スペースは加味した上で立体駐車場を想定されていると思いますが、バス等の駐車は想定されているのでしょうか。

◇事務局 現時点では、大きなバス等大型車両の駐車スペースに関しては想定していない状況です。機材の搬入出に際し、舞台袖につけられるようスペース等を確保しないといけないということは検討中です。ただし、お客様用の大型車両を何台も停められる大きなスペースを確保するのは現時点では物理的に難しいと思われます。渋滞対策も併せて考える必要があると思います。基本計画から進んだ基本設計・実施設計段階では、敷地内に大型車両用の駐車スペースを設けるべきか、他の駐車場と連携を図るべきか等、総合的に考えるという課題があると認識しています。

◎会長 詳細な設計段階等で、必ずしもこの施設の中だけでなく周辺も含めた中で確保できるか、といったところを検討いただけるとのことでした。

●委員 個別具体的な話ではないですがお話しします。

基本構想にもそれらしきことが書いていますが、建物自体が駅からの動線、交流や滞留の拠点の一つになることを方針で明示したほうがよいと考えています。日常的に使う、ということはすでに基本構想に散りばめられているとは思いますが、大きな視点で見た時、駅から歩いてここまで来て、さらにその先までひとが移動するとして、滞留や広がっていく等のフックになるような拠点にならないはずですか。まちづくりの一つの大きな中心となる場所である、という意味が計画の中にある程度必要だと思います。そういうことを目指して、市民ワークショップの参加者の皆さんも考えておりましたし、そういった側面はあると思いますので、何かまちづくりの一つの重要なものという含みがあるとよろしいのではないのでしょうか。

◎会長 ありがとうございます。ゾーンとしての位置づけ、価値ということですね。公園との関係だけでなく、より広い視点ということですね。

●委員 駅からの大通りから歩いてきて、滞留して、その交流拠点であり、駅に溜まっている若者の分散を促すこともできます。ひとの往来のフックになる、ということが含まれているとよいです。

◎会長 総合計画の議論でも、駅の周辺が活性化してきたのをまわりにどう広げていくかという市街地活性化に関する話がありました。そのあたり、市でも認識していると思います。ありがとうございました。

●委員 委員のおっしゃったことに同意します。

せっかく駅から至近距離という良い場所に建つので、いかに賑わいを演出していくかが大切だと思います。回遊性や、催しだけで一つの点で終わらせるのではなく、線になり面になり、このまちの魅力をプラスしていくためにはこの施設が非常に大きな戦力になりますし、貴重な存在になるはずですよ。そのような視点で取り組んでほしいです。

また、表現の中で確認したいことがあります。私どもは文化小ホールを非日常の空間が日常になるような場でありたいと思います。どうしてもホールは敷居が高いと思われがちですが、私はそうではないと思っています。活動を通じて市民の生活の中に文化が根付き、洗練され、暮らしが豊かになり、このまちで暮らしたくなる、というように憧れるまちになればよいと思います。小ホールや保健センター、子どもの視点等を取り込んだ施設だけでなく、さらに付加価値を高める施設になりうると思います。建設費がかかってもそれ以上の効果が期待できる、という捉え方を市民にも持っていただけるよう、いろいろな機会働きかけながら、できれば、活動を通じ、その活動の輪を市民の中に広げ、それにより地域の活動が変わる、という意識づけを高める場であってほしいです。親しみやすい施設は決して非日常とは反比例しないという意識を持っていただきたいです。

◎会長 2. 文化小ホール基本構想・基本計画中間報告案に関する事項の【方向性】の「特別な人が行く施設ではなく、日常使いの場として気軽に行けるよう、敷居が高くないような施設を検討」に関するご意見でしょうか。

●委員 その通りです。

●委員 平時、イベント開催時のときの安全対策についての質問です。

保健センター機能があるため、何かあった時の対応は可能なのでしょうか。一方で、いろいろな機能がありますが、子どもからお年寄りまで、色々な方が来られる土日開催のイベント時、救護室等の設備や何かあった時の応急対応が私の中で整理できていないので、お考えがあれば伺いたいです。

◇事務局 何らかの対応はできるだろうと考えています。それに関しては具体的な施設機能部分になり、現在は理念的なところをまとめている段階です。救護は医療的なところまで話を広げると医師や看護師まで幅が広がっていくため現時点では入っていませんが、病院といった診療所機能は設けないにしても、今後の段階におい

て簡易的でも対応できるところについて、今いただいたご意見を参考にさせていただければと思います。

●委員 特に夏の熱中症など、安心安全の観点をご検討いただきたいです。ありがとうございます。

○副会長 先ほどの委員の意見に同意するところがあります。

付加価値のあるものをつくるのはお金と調整さえあればできると思いますが、それを誰が使うかという市民力、使い倒してもらおうとを育てることが重要ではないでしょうか。期間が延びたことで、運営・管理について専門家を入れながら、文化に関わるひとを育てるという部分ですが、今回全てのワークショップに参加してみて、文化に対する熱い想いを持っているひとが埋もれていると感じました。そのようなエネルギーのあるひと達が、この長い期間を通じて愛着を持ってもらう、自分たちの手で作ったという意識が強いと、市民に使い倒される、市民が待ち望んだホールになるのではないのでしょうか。今回のワークショップは専門家がいたことで市民の方を面白がらせ、興味を持たせることで盛り上がり、成功したのではないかと思います。

また、4. その他意見に、「特に市民ワークショップの熱意を無駄にしないよう、文化小ホールの開館までの継続した取組を検討していただきたい」という意見があります。この文面だけ読むと文化小ホールの開館まで継続した取り組みを検討していただきたい、と読み取れますが、その段階にも、専門性のあるファシリテーター等を入れてのワークショップが良いと思います。どうやったらこのホールを愛してくれるか、どういう活動ができるか、最終的にはそういったところで主体的な市民や、ホールのファンになっていただいた方に管理運営にも携わっていただくといったような流れです。長い期間をかけて、物をつくるのではなくひとをつくる、ということをもう少し加味し、お金を投入してコンサルタントを入れて、市民を育てる、といったことも書いていただけると嬉しいです。

◎会長 ありがとうございます。人材育成については前回にもご意見をいただいています。ホール開館時期が延びるなか、ワークショップの熱意を無駄にせぬように、というご意見でした。ファシリテーターに関して、専門性のあるコンサルタントもいますし、市民活動としてそういったことをやられている方も増えていると思います。やはり、前回から出ている開館時期が延びることで市民の熱が冷めるのではないかと、という懸念があります。ソフトの取り組みを含めてどういう風坚持下去いくか、意見書（案）にあることをどう具体化していくか考えるべきことは多いと思います。

●委員 まったく同感です。

研修で行った東京都の博物館の運営スタッフが市民の方で、「私たちが運営している」というプライドややりがい、熱意がありました。今回のワークショップ

にも熱意を持った市民がいらっしゃるならば、その情熱をうまく運営にも活かしていくような継続的な取り組みがあるとよいでしょう。

それと合わせて、他の委員より学校教育との連携と地域部活動に関してお話がありました。ただ、地域部活動については周南市文化スポーツ活動推進委員会で議論されていると思います。その中に3つの部会があります。私は第3部会に所属しており違う部会に入っていますが、施設をどうするかという議論をされてる部会があります。例えば、教員が地域の一員として地域部活動の吹奏楽を担う場合、活動場所は引き続き学校のほうが道具や音楽教育の質向上の観点等から効率的といった意見もあります。ただ、地域の方が地域部活動、周南市の文化を担ってもらうのであれば、地域部活動としてやっ払いこうとする方の思いもこの施設に反映したほうが、当事者意識を持ってもらったり、希望を叶えてもらったという意識付けをしたりする点でよいのではないのでしょうか。

◎会長 学校の部活動、あるいは地域移行の観点からのご意見でした。ありがとうございました。

●委員 人材育成の話がありましたが、今年度文化振興課にて、周南市文化芸術振興プラン策定を目指しています。策定に向けての協議のなかでは、部活動の地域移行についての話も出ています。人を育てる、ということをもさに今取り組んでいる段階です。市の中では、文化小ホールのみのお話だけでなく、施設外のことでもこのように共通した話題が出ています。そういったところと一緒に検討できればよいと思います。

◎会長 おっしゃる通りだと思います。この場ではこのゾーン、この文化小ホールをどうするか、についての話をしていますが、周南市の中で別途議論されていることもあると思います。やはり、そういった議論と本件に関わる議論とが連動した形にならないといけないと思います。

●委員 3. 今後の文化小ホール基本構想・基本計画の策定に関する事項の【駐車場機能】についてです。「こどもファスト・トラック」について、こども家庭庁が進めていて、全国的に浸透しているなかで、周南市としても「こどもまんなか宣言」を全面的に打ち出しています。その考え方が反映されるようホールの運営等に繋げていくことは必要だと思います。具体的に言うと、例えば客席規模はまだどうなるか分かりませんが、イベント時妊婦や子育て世代を優先的に手続きして入っていただく等の目線も検討しつつ運営に繋げていただければと思います。

◎会長 駐車場に限らず施設全体として、というご意見だと思います。ありがとうございました。

この意見書の中で、こういうところがあったほうが良いと思うところはございますでしょうか。

●委員

この場はホール機能について議論されていると思います。前回もお伝えしましたが、公共ホールはこの場所に来る人のためだけの場所ではないです。文化政策上の一拠点であり、施設のそばにいない人にとっても意義のある場所になることが求められる時代です。全体的に場所から発想がスタートしていますが、施設ができ、そこに配置されたひとの役割は施設の管理運営だけでなく、周南市全体の文化芸術政策に関わる、ということが意見書のどこかに入ると良いと思います。

また、機能欄に網羅的に書かれていますが、例えば人材育成の中にサポーターやボランティア育成等取り組み事例だけでなく、言葉を入れるとより良いと思います。

さらに、先ほど他の委員もおっしゃっていましたとおり、日常的な防災機能が抜けている印象です。避難所とは書かれていますが、もう少し大きな機能を持つことを明記すべきです。例えば、東京都の民間ホール施設は近隣の大きい病院と契約しています。客席でお客さんが倒れた時にパッと病院に連絡できるという体制は民間のほうが進んでいるかもしれないです。なかなか地方都市では難しいとは承知していますが、避難所機能とは言わず、もう少し広い、熱中症等非常時対応について基本計画に書いておくと忘れないで済むと思います。

◎会長

人材といってもサポーターやボランティア等色々あります。市民として文化活動を支えるひとと、もう少し専門性の高い企画や施設外の活動についても考えられるひと、どちらも必要だと思います。最終的な取りまとめに向けて考える必要があるのではないのでしょうか。また、危機管理の点について、ハードルはあるでしょうが、せっかくご意見をいただいたので、そのあたりを入れられるか検討いただきたいと思います。

多数のご意見をありがとうございました。

ゾーン、エリアをどうするかという話では、駅からの動線、公園等周辺環境との連携や景観との調和といったまちづくりのなかでの施設の位置づけについてご意見がありました。

具体的な施設機能については、駐車場や防災、医療、子どもや妊婦の優先度の話等のご意見をいただきました。

最後に、ひとの話もありました。サポーターやボランティア、専門性のある企画ができるひと等のご意見がありました。その辺りをもう少し加筆いただく必要があると思います。

市のスケジュールの都合もあるため、最終的な加筆等につきましては会長である私にご一任いただいてよろしいでしょうか。私のほうで本日いただいたご意見を加筆できる形を取らせていただき、最終的にまとめる、とさせていただきます。責任をもって進めさせていただきます。

事務局におかれては、今後の進め方に関するご意見もいただいたと思います。  
実施設計段階になるかもしれないですが市で検討いただければと思います。

## 2 議事:(2)その他意見

◎会長 本日もご欠席されております委員より書面にてご意見いただいております。読み上げます。

「新しい施設が世代を問わず利用され、たくさんの人が集う市を代表する愛される場所となるよう。子育て支援の立場から、親子の交流や居場所づくり、子どもと若者世代とが繋がることのできる場所の充実と、一人でも多くの若者が周南市で子育てしたいと思えることを願う。」とのことでした。

最後になりますので、委員から何かご意見はありますか。

●委員 ホールには直接関係ないかもしれませんが、新幹線から降りたとき、とても良い市だと思いました。駅から御幸通りを歩くととてもきれいな街並みで、まっすぐ歩いていくと立派な市役所があり、多少ずれてはいますが文化会館もあります。文化小ホールができた際は、駅から歩いてくる人が快適に移動できることを望みます。ベビーカー等も通りやすいように、文化小ホールまでの歩道が平坦に整備されているともっとホールに行きやすくなって良いのではないのでしょうか。信号もできればないと良いです。

◎会長 徳山駅から岐山通は周南市の顔です。周南市のこれまでの都市計画の蓄積により充実したインフラになっているのでしょう。最近は色々なまちで道路のウォークアブル化等が進んでいます。周南市はよい道路インフラを持っているため、その空間を活用できるよう考えてほしいです。

●委員 先ほどの委員の話と関係していますが、ハードと同じほどソフトは重要です。開館まで一生懸命にやっても開館後のフォローができていない施設も多いです。しっかり機能していて、活発に活動しているホールには良い人材がいます。地域の実情を知っていて、いろいろな団体のリーダーを知っており、ひと同士を繋げる力、関係性づくりのできるスタッフがいることで、新しい活動が生まれます。今後のことではあるかと思いますが、ソフトもハードと同じくらい大切だという認識を持って取り組めば、立派なホールができると思います。それがさらなる魅力を増していくと思います。

◎会長 人材育成の話が何回も出ています。どうしてもハード寄りの議論になってしまっていますが、ひとあってこそその文化であるため、その部分を意見書(案)でも伝える書き方にしていきたいです。市でも考えていただき施策を練っていただければと思います。

ご意見等ありましたらお聞きしておきたいと思いますがいかがでしょうか。それでは以上とさせていただきます。最後に事務局から連絡事項をお願いします。

### 3 その他

◇事務局 活発なご議論をありがとうございました。大変参考になる意見をたくさんいただいたと思っています。今いただいたそれぞれのお立場からの専門的なご意見をしっかり活かし、山口県内でも有名、ナンバーワンを目指せるように、エリアづくり含めてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。折に触れてまた、お力添えいただければと思います。

最後に市長よりひとこと挨拶いただきます。少々お待ちくださいませ。

◎会長 委員の皆様には、大変お疲れ様でした。時にこういった会議でなかなか皆さんにご意見いただけない会議もある中、この度は本当にたくさんのご意見をいただきまして、そういう部分でも委員長立場としてありがたかったと思っています。

私自身は山口県内の他市にありますが、周南市がこのようにまちづくりを進めている点においてうらやましいと思います。色々な事情があり完成まで時間がかかるけれども、この熱を絶やさず、ホールの実現、あるいは意見が出ているホールを支えるような芸術活動を支えるひとづくり等をご尽力いただければと思います。先ほど申したように、意見書につきましては、事務局と調整させていただいたうえで取りまとめて市に提出させていただきます。

### 4 市長あいさつ

市長 いつも大変お世話になっております。市長の藤井です。

本日はお忙しいところお集りいただきありがとうございました。

3月以降全4回にわたって、皆様の豊富なご経験、専門的な知見により活発なご議論をいただきました。改めて感謝申し上げます。

本事業につきまして、昨年8月の市議会全員協議会にて市民館跡地の利活用についての方向性を表明して以来、様々な議論や検討を重ねてまいりました。

しかし、文化会館改修や山口銀行から新たな関心表明がありました。前提条件が大きく変わることが重なり、都度委員の皆さまにはご迷惑をおかけし申し訳なく思っております。会議が延期になったり、急に変わったりと本当にご無礼をいたしました。そのような中、皆様には文化小ホールの基本構想・基本計画について一定のまとめを作っていました。

今回この中間報告をもって、有識者検討会議を一旦閉じることとなります。今後この中間報告をもとに引き続き、本事業の検討を進めてまいります。

委員の皆様におかれましては引き続き本事業へのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。不完全燃焼な気持ちもあるかと思いますが、いろいろな事情が出てきて、こうなったことに対して本当に申し訳なく思います。これまでお世話になったことへ、どうしても私から労いの言葉を申し上げたく思い本日まいりました。ありがとうございました。お礼申し上げます。

## 5 閉会

◇事務局      以上をもちまして、「第4回 市民館跡地利活用構想及び文化小ホール基本構想・基本計画に関する有識者検討会議」を終了いたします。皆さま、お疲れ様でした。